

酒井健太郎『アリストテレスの知識論 —『分析論後書』の統一的解釈の試み』 (九州大学出版会, 2020) 書評会

この度、酒井健太郎氏が博士学位論文にもとづいて出版したアリストテレス『分析論後書』に関する研究書の書評会を開催することになりました。多くの方のご参加をお待ちしています。

著者による紹介
酒井 健太郎

コメント (順番未定)
飯田 隆
岩田 直也
斎藤 憲
高橋 祥吾

著者からの応答

質疑応答

2021年3月6日 (土) 13:30-17:00

オンライン (Zoom) 要事前登録 (前日17:00まで)

登録フォーム：<https://forms.gle/MnncjMxt2tTiGMdm7>
(右のQRコードからもアクセスできます)

登録者にはzoomミーティングのリンクと資料を前日夜にお送りします。

共催

科研費プロジェクト「アリストテレス倫理学の再定位を通じた新たな自然主義的倫理学の構想」(17H02257)
東洋大学国際哲学研究センター

問合せ：近藤 智彦 (北海道大学) kondo@let.hokudai.ac.jp



ARISTOTLE'S

酒井健太郎

アリストテレスの
知識論

『分析論後書』の統一的解釈の試み

THEORY OF
KNOWLEDGE

知識と方法

解釈上の論争を惹起してきた『分析論後書』について、
原典から既存の解釈案まで緻密に読解・検討し、
その整合的な解釈の道筋を示すことによって、
アリストテレスの知識概念を明らかにする。
九州大学人文学叢書 第9回配本 九州大学出版会

